



DIGITAL MIXING CONSOLE

DM7 SERIES



ヤマハ初のデジタルミキサー「DMP7」の発売から35年以上が経過し、プロオーディオ業界では、技術の進歩や革新が着実に進み、ミキシングやレコーディングのスタイルも大きく変貌しています。

デジタルミキシングコンソールDM7シリーズは、直感的なユーザーインターフェース、コンパクトな筐体、包括的かつパワフルな機能によりこのクラスのミキサーを凌駕し、様々なシーンに適応できるようにデザイン、機能性、柔軟性の進化を遂げました。ライブコンサート、放送、ストリーミング配信、音楽制作などあらゆる場面で、DM7シリーズはヤマハの伝統である「ナチュラルサウンド」を継承しつつ、操作性やワークフローに新たなスタンダードスタイルを打ち出します。DM7シリーズは時代の変化を先取りしたユーザーエクスペリエンスと、オーディエンスやエンジニアの期待を超えるサウンドパフォーマンスを提供します。

DIGITAL MIXING CONSOLE

DM7 SERIES

デジタルミキシングコンソール **DM7 / DM7 COMPACT**

エクспанションコントローラー **DM7 CONTROL**

オーディオインターフェースカード **PY64-D / PY64-MD / PY8-AE**

インターフェースカード **PY-MIDI-GPI**

ソフトウェアパッケージ **Broadcast Package / Theatre Package**

SOUND

デジタルミキサー開発の長い歴史の中で、一貫して守り続けてきたコンセプトがあります。

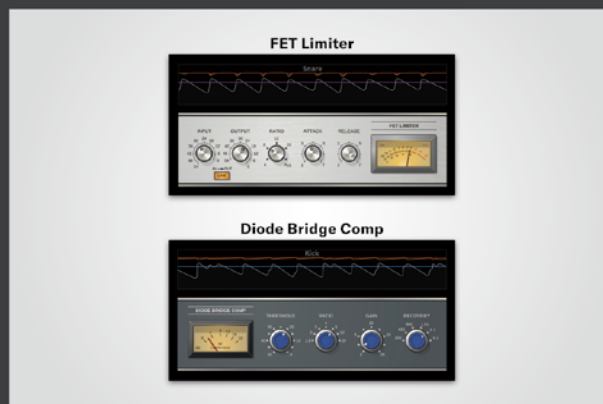
それは、音作りの原点となるナチュラルで透明感のある音です。DM7シリーズの高品質なインプットセクションは、原音に忠実に色付けのないサウンドを生み出し、エンジニアがプラグイン、EQ、ダイナミクスなどを用いて色付けし、音作りをするためのキャンバスの役割を果たします。

DM7シリーズは、エンジニアの理想の音作りをサポートするために、あらゆる面で進化を遂げています。



強力なインプットセクション

音作りのスタートとなるインプットセクションに妥協や物足りなさがあると、エンジニアやオーディエンスの期待に応えるミックスはできません。そのためヤマハは音質について独自の厳格な基準を設け、コンソールやI/Oラックのインプットは電源/アース、回路構成、機械構造など、入力段で考えられる全ての要素に細心の注意を払った設計をしています。また、DM7シリーズは、サンプリングレート96kHzに対応しており、コンソールのインプットだけでなくI/OラックRシリーズを用いた場合でも高分解能な音質を実現します。



充実したチャンネルストリップ

DM7シリーズのチャンネルストリップは直感的な音作りを可能にする数々の利便性の高い先進的な機能を搭載しています。フラッグシップミキサーRIVAGE PMシリーズから継承したチャンネルEQに加え、チャンネルダイナミクスに新たに追加した「FET Limiter」と「Diode Bridge Compressor」はダイナミクスコントロールの可能性を広げます。さらに、ダイナミクスの変化を時間軸上で視覚的に確認可能な新機能「History」を使えばこれまで以上に正確にダイナミクス調整ができ、さらに新機能の「Mix Balance」パラメーターは、原音とコンプレッションされた音のバランス調整と、パラレルコンプレッションも可能にします。また、必要に応じてEQとDynamics2の順番を変更でき、音作りの幅がさらに広がりました。DM7シリーズは、独自のアルゴリズムによるオートマチックマイクロフォンミキサーで有名な米国のDan Dugan Sound Design社との協業により、最大64チャンネルの「Dan Dugan オートミキサー」を標準でマウントした状態で搭載し、EQ RACKのリソースを消費することなく、必要なチャンネルに即座にインサートして使用できます。また、入力メーターにはHAレベル調整をサポートするヒストグラム表示を追加しました。



豊富なプラグインと新エフェクト

DM7シリーズは、Rupert Neve Designs社との共同開発によるイコライザー「Neve Portico 5033」やコンプレッサー/リミッター「Portico 5043」など、幅広い用途に対応する豊富なプラグインを搭載しています。他にもオーディオエンジニアに定評のあるダイナミックノイズサブレッサー「DaNSe」や「DynamicEQ」といったヤマハのオリジナルプラグインも搭載しています。

FX RACKには、新搭載のリバーブ「REV HD」「REV R3」をはじめ、43種類の高品位なマルチエフェクトプロセッサーを搭載し、より深みのあるクリエイティブな音作りを可能にします。

OPERABILITY

ヤマハはプロのユーザーがデジタルミキサーに求める高い操作性を提供してきました。

アナログライクな操作性を実現した「M7CL」、Centrallogicをブラッシュアップして操作性を高めた「CLシリーズ」、そして「DM7シリーズ」では、直感的な操作性をさらに進化させ、マルチディスプレイによる効率的な操作性、最新の Selected Channel Viewなどを採用しました。



直観的に操作可能な先進のGUI

DM7シリーズは、エンジニアのミキシング操作に最適化したGUIを搭載しており、タッチ操作でコンソールの持つ様々な機能に直感的にアクセスできます。チャンネルストリップの情報を一括で表示する Selected Channel View は、従来のGUIの良さを継承しつつ、より少ない手順と時間で操作できるように刷新しました。また、GUIの随所に日常生活で慣れ親しんでいるタッチスクリーン操作環境を取り入れることで、より直感的な操作性を実現しています。



先進の Selected Channel View と視認性に優れた Overview

DM7シリーズは、優れた操作性を有する RIVAGE PM シリーズの Selected Channel View と Overview の操作体系を継承しつつ、より直感的なインターフェースに刷新し、最新のニーズに対応する機能を搭載しています。Selected Channel View では、個々のチャンネルの重要な情報を一括で表示し、タッチパネル操作により僅かな作業時間で調整したいパラメーターに素早くアクセスできます。Overview は、12ch 単位で複数のチャンネルの情報を一括で表示することで、アナログコンソールを操作するような感覚でチャンネルのパラメーターにアクセスできます。



ワークフローに合わせたシステム構築が可能なラインナップ

DM7シリーズは、2ペイタイプ「DM7」とラックマウント可能な1ペイタイプの「DM7 Compact」の2モデルをラインナップしています。いずれも様々な場面で快適な操作性を実現しますが、オプションの拡張コントローラー「DM7 Control」を Ethernet ケーブルで接続すれば、パンナー、モニターコントロール、シーンメモリー、User Defined Keys/Knobs、カスタムフェーダー、ジョグホイールといったフィジカルコントローラーを追加することができ、ワークフローに応じた操作性が向上します。「DM7 Control」には、Broadcast Package/Theatre Package の2種類の別売オプション機能強化パッケージをバンドルしており、「DM7 Control」のフィジカルコントローラーと組み合わせることで、より快適な操作環境の構築が可能です。



チャンネル名の日本語化に対応

DM7シリーズは、チャンネル名に日本語を含む多言語の表示が可能です。アーティスト名や楽器名を日本語表示することで視認性が高まり、より快適に、より直感的な操作を可能にします。

*多言語チャンネル名の入力には DM7 Editor または DM7 StageMix から行います。



ユーティリティ画面による効率的な操作性

DM7シリーズは、12インチと7インチのマルチタッチスクリーンを搭載しており、直感的で快適なミキシングが可能です。12インチの大画面は、音作りに集中できる利便性の高い操作性を実現し、Selected Channel View などのミキシングに必要な情報を瞬時に確認できます。新たに採用した7インチディスプレイのユーティリティ画面ではシーンリスト、User Defined Keys、レベルメーターなどの大切な情報を表示して即座にアクセスでき、迅速かつ効率的な操作に役立てることができます。

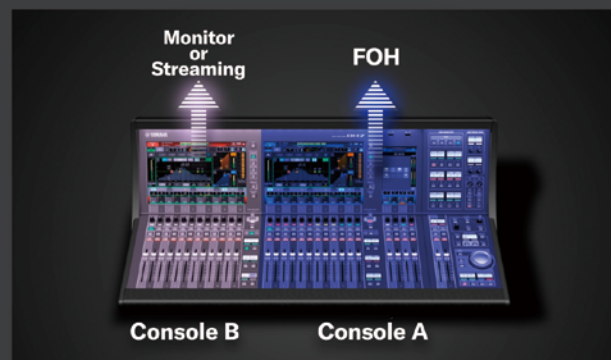
FUNCTIONALITY

エンジニアは、アーティストやクライアントからの様々な要求に巧みに対応し、

オーディエンスに最高のサウンドを届けることが日々求められています。

ヤマハは、エンジニアが限られた時間の中でクリエイティブな作業に集中し、妥協することなく

迅速かつ効率的なワークフローを確立できるよう、DM7シリーズに最先端の技術を搭載しました。



1台のミキサーで2台使用のように活用できるSplit Mode

Split Modeでは、シーンメモリーを含むミキシング機能を2分割することで、2台のミキサーが必要な場面でも、1台のミキサーでそれぞれのオペレーションを独立して行うことが可能です。例えば、FOHミキシングとモニターミキシング、FOHミキシングとストリーミング配信などの、2台のミキサーが必要になる場合の異なるミックスを、1台のミキサーでオペレーションすることが可能です。



汎用性の高いUSB接続

DM7シリーズのUSB type-Cコネクタは、レコーディング、ストリーミング配信、プレイバック、会議システム等との接続に、18 in/outのオーディオインターフェースとして使用することができます。

また、MIDIコントロールやDAWリモート機能を同時に扱え、ワークフローを効率化することもできます。



オペレーションに集中できるAssist機能を搭載

ヤマハのデジタルミキサーは、これまでユーザーの声を反映した機能強化、そして新しい技術とともに進化してきました。そしてDM7シリーズに追加した新しいAssist機能は、DM7シリーズをオペレートするエンジニアにこれまでに無い先進の操作環境を提供します。Assist機能はHAレベル、チャンネルネームとアイコン、フェーダーバランスなど全ての音作りの中核となるパラメーターをミキサーがエンジニアに「提案」する機能で、設定や準備にかかる時間を短縮し、クリエイティブな作業やコミュニケーションに集中する手助けをします。HA Assistは入力信号レベルに応じて適切なHAレベルを、Naming Assistは入力信号情報から各チャンネルのアイコン/チャンネル名を、Fader Assistは割り当てられたチャンネルのフェーダーレベルのバランスをそれぞれ提案します。これらの機能は、ユーザーからの声をもとに、今後も進化していきます。



効率的なオーディオ制作を実現するDAWリモート

DM7シリーズは、DAWを使った音楽制作やレコーディングにも最適なミキサーです。DAWリモート機能により、音量調整、トランスポートコントロールなどの操作で本体のフェーダーやボタン、ノブなどをフィジカルコントローラーとして活用でき、オーディオ制作やレコーディング用途でスムーズな操作環境を実現します。DAW Remote Modeは、フェーダーバンクDCAを押し、DAW Remoteを選択するだけでアクセスできます。



柔軟な接続に対応するDanteインターフェース

DM7シリーズは、ソフトウェア、ハードウェア、ネットワークプロトコルの組み合わせで、プロオーディオの業界標準となっているオーディオネットワークDanteインターフェースを標準で搭載し、Dante経由で144ch in/outが可能です。Danteは1本のイーサネットケーブルで数百のオーディオチャンネルを伝送することができ、どの分野でもチャンネル数の上限を気にすることなく、柔軟な拡張性の高いネットワークシステムを構築することができます。デバイスマウント機能により、DM7シリーズから対応しているDante搭載機器とのパッチやHAリモート、デバイスコントロールも容易に行えます。



電源の二重化で信頼性を確保

DM7シリーズでは、プロオーディオ機器を運用する上で大きなリスクとなり得る電源を二重化し、本番中の電源喪失リスクを軽減しています。万が一、一方の電源に問題が生じて、もう一方の電源が問題なければ、動作に影響することはありません。

EXPANDABILITY

理想的なシステムは、オペレーター、会場、イベントによって異なりますが、DM7シリーズは、ユーザーの必要に応じてシステムをカスタマイズし、ソフトウェアでワークフローを効率化することができます。



放送や劇場用途の機能強化パッケージ Broadcast Package / Theatre Package

オプションのBroadcast Package / Theatre Packageにより、放送や劇場用途に適した機能を追加することができます。

放送用途に適したBroadcast Packageは、5.1サラウンド、ミックスマイナス、ラウドネスメーターなどの機能を追加し、DM7シリーズを使った放送向けミキシングを効率化します。

演劇やミュージカルなど劇場用途に適したTheatre Packageは、アクトラライブラリー、DCAシーングリッド、AFC Imageコントロールなどの機能を追加し、DM7シリーズを使った複雑なシーン運用や音響演出において、ミキシングの利便性を大幅に向上させることができます。



PYカード用拡張スロット

DM7シリーズは、オーディオI/Oや制御機能を拡張できる最大64 in/outのPYスロットを装備しています。

64 in/outのオーディオネットワークソリューション Danteに対応するSRC (サンプリングレートコンバーター) 搭載の「PY64-DJ」、64 in/outのMADI入出力に対応した「PY64-MDJ」、8 in/outのAES/EBU D-sub 25ピン端子を備えた「PY8-AE」、DIN 5ピンとD-sub 15ピン端子でMIDI/GPIコントロール端子を追加できる「PY-MIDI-GPI」など、PYカードを使用することで、多様なシステムに柔軟に対応できます。



コントロールソフトウェア

近年のデジタルミキサーは、ワイヤレスミキシング、モニターミキシング、オフラインでの事前準備、各種アプリケーションによる遠隔操作などが一般的になっています。DM7シリーズは、これらに対応する専用アプリケーション「DM7 Editor」「DM7 StageMix」、汎用のアプリケーション「MonitorMix」「ProVisionaire Control」と「ProVisionaire Touch」を用意しています。また、OSC (Open Sound Control) サーバー機能を搭載しており、OSC対応機器からDM7シリーズをコントロールすることも可能です。



DESIGN

エンジニアは、アーティストの音楽表現を支える高度な専門知識と幅広い経験、そして洗練された音楽性が要求されます。

ヤマハは130年以上に渡り楽器を製造していますが、設計の過程で素晴らしい音と優れた演奏性を持つ楽器を作るだけでなく、演奏するアーティストをどのように引き立てるか、楽器自体の形や美しさにも焦点を当てています。

DM7シリーズでは、エンジニアが困難な状況でも自信を持ってクリエイティブにミキシングできるよう操作性を重視するとともに、エンジニアが操作する際の見た目の美しさも追求しました。



機能的で魅力的なレイアウト

ストリップライトは、フェーダー一面を照らすことで暗いライブ会場でもエンジニアが操作し易くなるように設計しています。DM7シリーズでは、ストリップライトとフェーダー面をつなぐサイドパッドを滑らかな曲線でデザインすることで一体感を持たせており、さらにその形状は、ストリップライトからの光漏れを防ぐとともに、USBメモリーやノブなどの誤接触防止のガードも担っています。



一貫したデザイン

オーディオエンジニアは、限られた時間の中でセッティングを行い、最高のサウンドをつくり上げる必要がありますが、会場によって環境や使用機材が異なるため、操作しにくいミキサーは作業負担を増加させます。DM7シリーズは、ボタンやノブのレイアウト、機能、グラフィックなどのこれまでのヤマハミキサーのインターフェース基準を継承し、親しみやすい操作感を実現しています。また、RIVAGE PM/CL/QLシリーズの滑らかなラインを継承し、操作性、造形性の両面で一貫したデザインを実現しています。



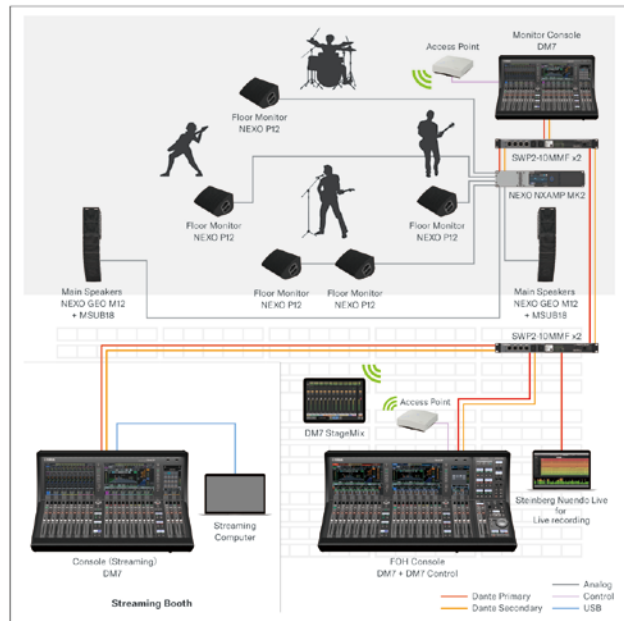
持ち運びや設置が容易な軽量、コンパクトな筐体

様々な用途に使用されるミキサーにとって、運搬性やセットアップのしやすさは最も重要な要素の一つです。DM7シリーズでは、ディスプレイの角度、フェーダーやボタンの間隔、ストリップライトの位置などを工夫し、高い操作性と視認性を維持しながらコンパクトな筐体を実現しました。「DM7 Compact」はサイドパッドを取り外すことでラックマウントができ、限られたスペースの環境でも使用可能です。

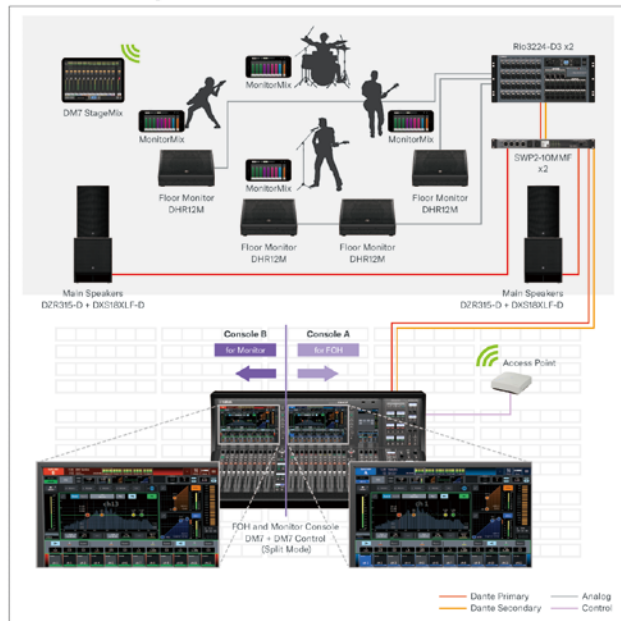


システム例

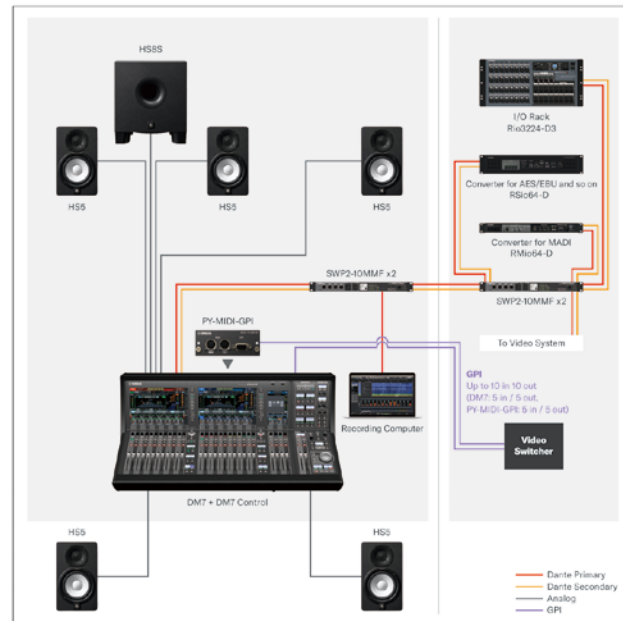
LIVE SOUND (+STREAMING)



EVENT *with Split mode



BROADCAST (OB VAN)



関連ソフトウェア / アプリケーション



DM7 Editor

DM7 Editorは、Windows/Macに対応したDM7シリーズのエディターソフトウェアです。DM7シリーズ本体とオンライン接続してのコントロール拡張や、オフラインでの事前のセットアップおよび編集用として使用できます。



Console File Converter

Yamaha Console File Converterは、複数のヤマハデジタルミキシングコンソール間でデータを共有することができるとソフトウェアです。



DM7 StageMix

DM7 StageMixは、シンプルで直感的にDM7シリーズをリモートコントロールできるiPad用アプリケーションです。エンジニアはステージ上の演奏者の位置からミックスパラメーターをコントロールすることもできます。



ProVisionaire Control/Touch

ProVisionaireシリーズは、設置場所や操作用途に合わせたコントロールパネルを作成し、機器を遠隔操作・監視できるソフトウェアです。



MonitorMix

MonitorMixは、各演奏者がモニターミックスを手元でコントロールできるiOS/Android端末用のアプリケーションです。



関連製品



Rio3224-D3



Rio1608-D3



SWP2-10SMF

SWP2-10MMF

Rio3224-D3/ Rio1608-D3

I/OラックRio3224-D3/Rio1608-D3は、音質、信頼性に大きな進化を遂げ、Danteネットワークによる柔軟かつ容易なシステム構築が可能です。DM7シリーズをはじめ、デジタルミキシングシステムRIVAGE PMシリーズ、デジタルミキシングコンソールCLシリーズ/QLシリーズでも使用可能です。

SWP2 series

SWP2シリーズは、10Gアップリンクポートを備えたネットワークスイッチで、Danteに最適化したセットアップやVLANプリセットをDIPスイッチの切り替えで簡単に設定できます。



RK1

DM7 Compactのラックマウントキットです。

PY64-D/PY64-MD/PY8-AE/PY-MIDI-GPI



PYカードは、DM7シリーズのオプションインターフェースカードです。MADI、AES/EBUの入出力やMIDI/GPIでのコントロール接続を拡張することができます。

バンドルソフトウェア



VST Rack Elements

プラグインホストソフトウェアVST Rack Elementsは、VSTプラグインを使用したお好みのエフェクトラックを簡単に作成することができます。



Nuendo Live

Nuendo Liveは、ライブレコーディングエンジニアやプロダクションなど向けに、信頼性、使いやすさ、音質を重視した録音のためのソリューションです。

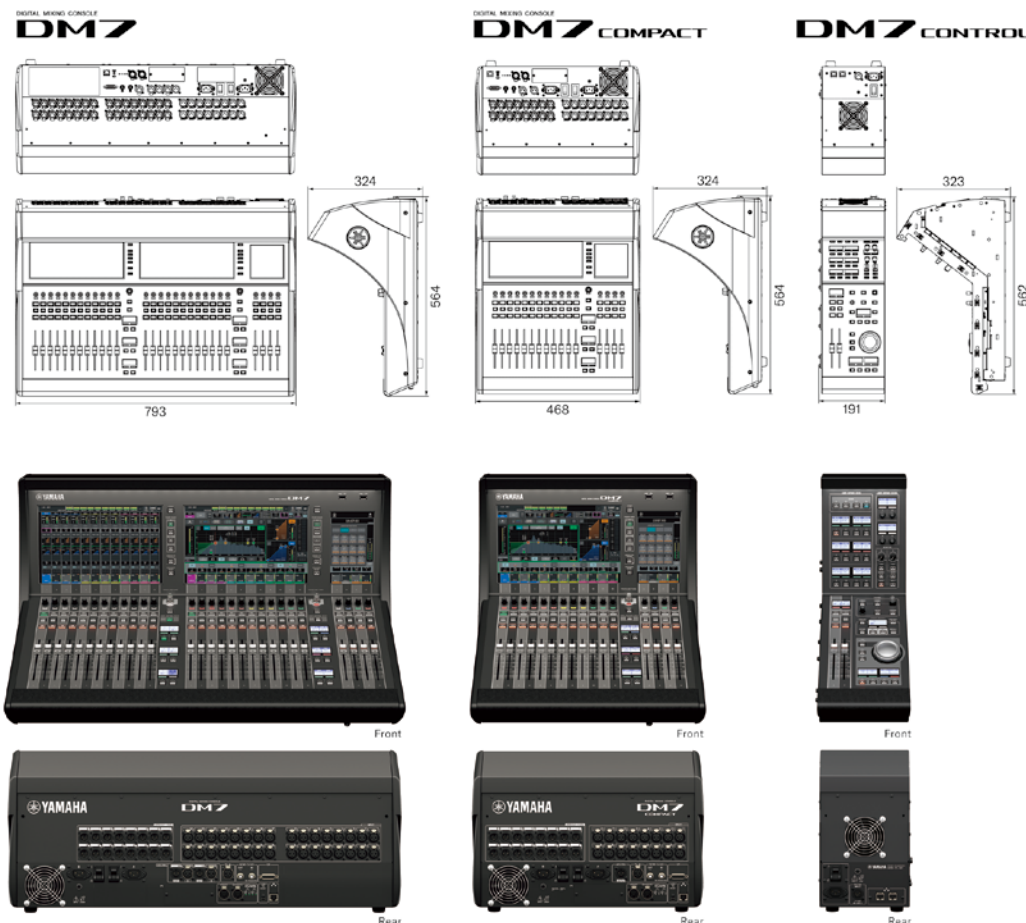
DM7/DM7 COMPACT : 主要規格

		DM7	DM7 COMPACT
ミキシング キャパシティ	インプットチャンネル	120 mono	72 mono
	Mixバス	48	
	Matrixバス	12 (Input to Matrix supported)	
	Stereoバス	2	
	Monoバス	1	
ローカル コネクター	Cueバス	2	
	アナログ入力	32	16
	アナログ出力	16	
	Dante I/O	144 in / 144 out (Primary / Secondary)	
	デジタル入力	2 (4ch)	-
	デジタル出力	2 (4ch)	1 (2ch)
	拡張スロット (PY)	1 (64ch)	
	USB TO DEVICE	2 (File Save/Load, 2 Track Rec/Play)	
	USB to Host	1 (18 in / 18 out, USB Type-C, USB2.0)	
	ワードクロック I/O	In / Out	
	GPI	5 in / 5 out	
	TC In	1	
	Phones	1	
サンプリング 周波数	External 周波数レンジ	48 kHz / 96 kHz ±200 ppm	
	Internal 周波数	48 kHz / 96 kHz	
シグナルディレイ スクリーン		Less than 1.5 ms, INPUT to OMNI OUT @Fs=96 kHz	
		12.1" multi-touch screen x 2 7" multi-touch screen x 1	12.1" multi-touch screen x 1 7" multi-touch screen x 1
フェーダー		100 mm touch-sensitive motorized fader x 28	100 mm touch-sensitive motorized fader x 16
電源電圧		100-240 V, 50/60 Hz	
消費電力		240 W	
寸法		793W x 324H x 564D mm	468W x 324H x 564D mm
質量		23.5kg	16.5kg
NC値 *1	Fan Speed : LOW	NC=20	
	Fan Speed : HIGH	NC=30	
動作温度		動作温度範囲: 0-40 °C	
保管温度		保管温度範囲: -20-60 °C	
同梱品		取扱説明書, 電源コード x 2, ダストカバー, ケーブルフック, Nuendo Live/VST Rack Elements Download Informationリーフレット	
オプション (別売) 品		PYカード (PY64-D/PY64-MD/PY8-AE/PY-MIDI-GPI), DM7 CONTROL, Broadcast Package, Theatre Package	PYカード (PY64-D/PY64-MD/PY8-AE/PY-MIDI-GPI), DM7 CONTROL, Broadcast Package, Theatre Package, ラックマウントキット RK1

*1. 本体 (フロントパッド) から水平方向に30cm、垂直方向に30cm離れて測定した値です。

寸法図

単位: mm



●本カタログに掲載の商品名・社名等は、
各社の商標または登録商標です。
●カタログに印刷された商品の色調は、
実際の商品と多少異なる場合があります。



お客様お問い合わせ窓口

フロオーディオ・インフォメーションセンター
 固定電話向け: ☎ 0120-016-808 携帯電話/IP電話: 050-3852-4471 (電話受付=祝日を除く月~金/11:00~17:00)
 ONLINE Support: <http://jp.yamaha.com/support/>
 ヤマハプロオーディオ機器やキャンペーンに関するお問合せにお答えいたします

FAQ <https://faq.yamaha.com/jp/s/> よくあるお問合せを商品別に掲載しております



ヤマハ株式会社

株式会社ヤマハミュージックジャパン

2025年10月作成 カタログコード LP816